



2021年3月26日

各位

会社名 株式会社ヴィア・ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 横川 紀夫
 (コード 7918、東証第一部)
 問い合わせ先 執行役員企画部長 関川 周平
 電話番号 03-5155-6801

2021年3月期 連結業績予想に関するお知らせ

2021年2月15日に公表した2021年3月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)において、未定としておりました2021年3月期の通期業績予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期 通期連結業績予想
 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	12,000	△2,800	△3,000	△5,650	△174.55
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	24,404	△479	△522	△1,801	△56.45

2. 公表の理由及び業績予想の具体的な背景

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、業績予想の合理的な算定が困難であったことから、2021年3月期の業績予想を未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報等に基づいて業績予想を算定しましたので公表いたします。

2020年4月から5月及び2021年1月から3月の緊急事態宣言による休業対応または時短営業対応といった営業制限に加え、特に都心部でのオフィスワーカーの減少、宴会需要の減少等により、主力の居酒屋業態において大きな打撃を受けており、売上高は12,000百万円(前年同期比△50.8%)に留まる見通しであり、支出の最小化を図っておりますが、営業損失は2,800百万円、経常損失は3,000百万円まで落ち込む見通しです。更に、2021年3月期第3四半期までの特別損益の実績に加えて不採算による閉店数増加、減損会計の適用が大型店舗を中心に見込まれるため、親会社株主に帰属する当期純損失は5,650百万円となる見通しです。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上